

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	13,954,234 株	2019年3月期	13,954,234 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,253,761 株	2019年3月期	1,253,750 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	12,700,472 株	2019年3月期2Q	12,700,773 株

2018年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合とする株式分割を実施いたしました。発行済株式数(普通株式)は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦に加え、長期化する英国のEU離脱問題などによる海外経済の不確実性の高まりなど、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、将来への不安を背景としたお客様の節約志向に加え、ライフスタイルの変化に伴う行動の多様化や市場構造の変化への対応が求められるとともに、人手不足を背景とした人件費や物流費の上昇など、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念・ビジョンのもと、中期経営計画に基づき、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。

おいしさの追求はもちろんのこと、高い品質と新たな価値を創出し、お客様の健やかな暮らしに役立つ製品を生み出すため、お客様視点での製品施策や、これを実現するための生産体制の整備を進めるとともに、全社一体となったマーケティング活動に取り組むことで売上高と利益の拡大を目指してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、食料品事業において香辛調味料グループが伸びたこととともに、主力製品を中心に堅調に推移いたしましたことなどから、前年同期比13億42百万円増の750億15百万円（前年同期比1.8%増）となりました。利益面では、販売促進費が増加したものの、広告宣伝など積極的なプロモーション活動による売上高の増加に加え、引き続き原価低減に努めたことなどから、営業利益は前年同期比1億68百万円増の41億28百万円（同4.2%増）、経常利益は前年同期比34百万円増の39億92百万円（同0.9%増）となりました。なお、調理済食品におきまして、一部工場の事業譲渡に伴い特別利益を計上いたしましたことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比9億34百万円増の38億4百万円（同32.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、10ページ「3. 補足情報」をご参照ください。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比15億88百万円増の649億41百万円（同2.5%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比55百万円減の40億14百万円（同1.4%減）となりました。

(2) 調理済食品

売上高は、前年同期比2億45百万円減の100億74百万円（同2.4%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は92百万円（前年同期はセグメント損失1億31百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して127億85百万円増加し、1,223億17百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加68億60百万円、有形固定資産の増加64億50百万円などがあつたことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して94億74百万円増加し、753億84百万円となりました。これは主に、借入金の増加71億8百万円などがあつたことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して33億11百万円増加し、469億33百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加35億50百万円などがあつたことによるものであります。この結果、自己資本比率は38.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、第2四半期連結累計期間における調理済食品の一部工場の事業譲渡に伴う売上高の減少の見込み及び、事業譲渡益を特別利益として計上したことなどを勘案し、売上高、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期通期の連結業績予想を修正しております。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	148,000	7,200	7,100	4,900	385.81
今回修正予想 (B)	145,000	7,200	7,100	5,200	409.43
増減額 (B - A)	△3,000	—	—	300	—
増減率 (%)	△2.0	—	—	6.1	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	145,160	7,154	7,071	4,317	339.96

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,007	25,867
受取手形及び売掛金	28,431	28,128
商品及び製品	6,847	6,765
仕掛品	1,883	1,971
原材料及び貯蔵品	5,800	5,910
その他	944	817
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	62,915	69,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,740	15,303
機械装置及び運搬具(純額)	6,555	6,671
土地	8,831	10,285
その他(純額)	6,477	7,794
有形固定資産合計	33,604	40,054
無形固定資産	847	855
投資その他の資産		
投資有価証券	6,785	6,427
退職給付に係る資産	—	73
その他	5,799	5,864
貸倒引当金	△420	△420
投資その他の資産合計	12,165	11,945
固定資産合計	46,616	52,856
資産合計	109,532	122,317

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,266	11,277
短期借入金	21,119	28,598
未払金	10,854	12,558
未払法人税等	48	1,044
賞与引当金	1,253	1,244
資産除去債務	1	1
その他	3,790	3,547
流動負債合計	47,334	58,271
固定負債		
長期借入金	9,391	9,021
債務保証損失引当金	805	439
退職給付に係る負債	6,330	6,042
資産除去債務	186	145
その他	1,862	1,463
固定負債合計	18,575	17,112
負債合計	65,910	75,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	36,677	40,227
自己株式	△2,931	△2,931
株主資本合計	40,827	44,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,189	1,944
土地再評価差額金	862	862
為替換算調整勘定	14	△4
退職給付に係る調整累計額	△272	△247
その他の包括利益累計額合計	2,794	2,555
純資産合計	43,622	46,933
負債純資産合計	109,532	122,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	73,672	75,015
売上原価	42,569	42,598
売上総利益	31,103	32,416
販売費及び一般管理費		
販売促進費	16,197	17,000
その他	10,945	11,288
販売費及び一般管理費合計	27,142	28,288
営業利益	3,960	4,128
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	88	94
不動産賃貸料	20	20
為替差益	37	—
その他	116	107
営業外収益合計	262	225
営業外費用		
支払利息	252	247
為替差損	—	19
その他	12	94
営業外費用合計	265	361
経常利益	3,957	3,992
特別利益		
貸倒引当金戻入額	870	—
債務保証損失引当金戻入額	—	366
事業譲渡益	—	473
その他	114	41
特別利益合計	984	881
特別損失		
固定資産除却損	42	12
債務保証損失引当金繰入額	870	—
その他	1	0
特別損失合計	914	12
税金等調整前四半期純利益	4,027	4,861
法人税、住民税及び事業税	1,124	955
法人税等調整額	33	101
法人税等合計	1,157	1,057
四半期純利益	2,870	3,804
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,870	3,804

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	2,870	3,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	△245
為替換算調整勘定	41	△18
退職給付に係る調整額	30	24
その他の包括利益合計	222	△239
四半期包括利益	3,092	3,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,092	3,565
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,027	4,861
減価償却費	1,630	1,548
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,106	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	52	△8
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	870	△366
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△73
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△90	△251
受取利息及び受取配当金	△89	△97
支払利息	252	247
固定資産除却損	42	12
事業譲渡益	—	△473
売上債権の増減額(△は増加)	△3,029	302
たな卸資産の増減額(△は増加)	11	△115
その他の資産の増減額(△は増加)	264	20
仕入債務の増減額(△は減少)	293	1,011
その他の負債の増減額(△は減少)	164	208
その他	△102	29
小計	3,191	6,854
利息及び配当金の受取額	89	98
利息の支払額	△266	△264
法人税等の支払額	△1,393	12
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,620	6,700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,252	△6,603
有形固定資産の売却による収入	16	0
無形固定資産の取得による支出	△194	△168
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	123	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	0
長期貸付けによる支出	△400	△2
その他	△11	240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,718	△6,533
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,400	7,580
長期借入れによる収入	3,800	1,300
長期借入金の返済による支出	△4,707	△1,771
配当金の支払額	△253	△253
その他	△138	△147
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,101	6,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	△20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,048	6,855
現金及び現金同等物の期首残高	17,682	17,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,731	24,839

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,352	10,320	73,672	—	73,672
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	63,352	10,320	73,672	—	73,672
セグメント利益又は 損失(△)	4,070	△131	3,939	20	3,960

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額20百万円は、セグメント間取引消去20百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	64,941	10,074	75,015	—	75,015
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	64,941	10,074	75,015	—	75,015
セグメント利益又は 損失(△)	4,014	92	4,107	20	4,128

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額20百万円は、セグメント間取引消去20百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	63,352	64,941	1,588	
スパイス&ハーブ	13,085	13,213	128	洋風スパイス、シーズニングスパイス (増加)
即席	16,749	16,754	4	即席カレー (増加)
香辛調味料	18,365	19,624	1,259	チューブ製品、中華製品 (増加)
インスタント食品その他	15,152	15,348	196	レトルトカレー (増加)
調理済食品	10,320	10,074	△245	パン等 (減少)
計	73,672	75,015	1,342	